

標準化・デジタルツール関連の 課題と進め方（案）

EPA活用推進のための当面の課題一覧

- 前回の会議の議論を踏まえ、16の課題をリストアップ。
- 主に、①啓発・教育活動、②標準化・デジタル・プラットフォーム、③制度・運用関連の取組に分類可能。
- 3つの分類について、メンバーから有志を募り、課題分析と取組の方向性を精査。

取組事項	
啓発活動	① 経営層/事業部長への適切なアウトリーチ
	② 中小企業向け個別支援拡充
	③ 業界別EPA現状把握のための指標構築
	④ 通商教育の充実と人材育成
標準化・デジタルツール 関連	⑤ 自動車以外へのJAFTAS展開 & 機能追加 ※令和3年度補正予算事業で取組中
	⑥ HSコードサポート機能 ※令和3年度補正予算事業で取組中
	⑦ 業界別マニュアル/プロセス・フォーマット標準化 ※令和3年度補正予算事業で取組中
	⑧ 日商システム/JAFTAS/NACCS連携
	⑨ 中小企業へのデジタルツール導入費支援
	⑩「下請適正取引等の推進のためのガイドライン」でのデジタルプラットフォーム活用推奨
制度・運用関連	⑪ 累積 活用の具体的手続整備
	⑫ 遡及 活用の具体的手続整備
	⑬ 輸出先税関トラブル、3国間FTAへの対応
	⑭ あるべき原産証明主体の整理
	⑮ 原産判定 基準/条件明確化
	⑯ より利活用しやすい原産地規則・手続のあり方

- 令和3年度補正予算事業では、知識の壁、社内の壁、協力企業の壁という3つの壁を超えることを目標に、各業界の業界団体、主要企業のご協力の下、4つの実証要素を推進しています。（実証要素は、標準化・デジタルツール関連に対応しています）

令和3年度補正予算事業の実証要素	標準化・デジタルツール関連取組事項
課題解決のための 業界標準 となる作業フロー等をまとめたマニュアル	⑤
業界 毎に原産地証明書の申請準備に必要な根拠書類の標準フォーマット	⑤
業界 専門用語等とHSコード候補の組み合わせに係るデータセットの構築	⑦
実証ユーザーによるデジタルツールのご利用と意見募集	⑥

A:業界横断レベル

本日

業界横断 EPA活用推進会議

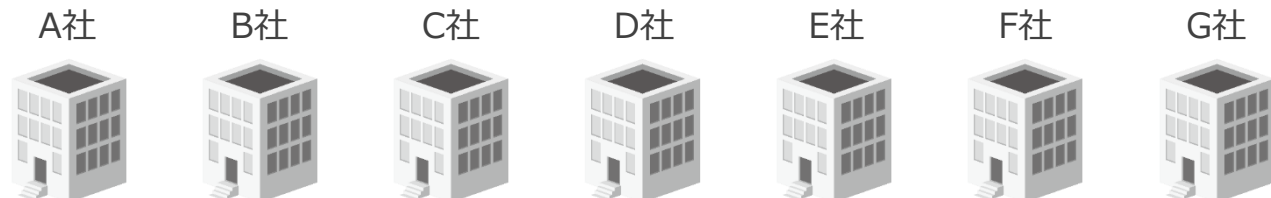
B:業界団体レベル

10業界



C:企業レベル

1000社以上



- EPA活用推進会議の発足を受けて、各業界団体でEPA活用推進の動きが始まっています。

EPA活用推進サイクル -四半期-

B : 業界団体レベル
各業界団体におけるEPA活用促進の企画・運営

A : 業界横断レベル
各業界団体における
EPA活用促進についての発表

活動状況のご報告

EPA活用促進会議

業界団体

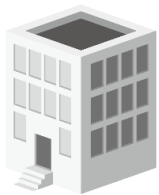
主要企業様
事務局様

EPA専門家



東京共同会計事務所

C : 企業レベル : 各業界団体から複数社がご参加



.....

会議内容のご報告

実証事業への参加、アンケートやヒアリングによる現状調査を実施

各業界の検討状況

業界		現状調査	標準マニュアル	HSコード データセット	デジタルツール 検討ご支援
自動車及び輸送機器	自工会	◎	◎	○	○
	部工会	◎	◎	○	○
産業機械	日工会	○			○
	建機工	○			○
	印刷産業機械	○	○		○
	繊維機械	○			○
情報通信機器	JEITA	○			○
素形材	バルブ工会	○			○
金属鉄鋼	日本鉄鋼連盟	◎	◎	◎	○
化学業界	日化協	○			○
繊維業界	繊維産連	○	○	○	○
紙・パルプ	紙類輸出入組	○	○	○	○

実施予定事項 2022年10月-2023年2月末

	7 - 9 月		10-12月		1-2月	
業界横断検討	第1回 EPA活用 推進会議	第2回 EPA活用 推進会議		第3回 EPA活用 推進会議		第4回 EPA活用 推進会議
⑤JAFTAS展開 & 機能追加 実証事業版 JAFTAS®	実証事業版JAFTAS 申込受付中					
	実証事業版 JAFTAS®の各機能をリリース					
			HSコード管理機能追加			
⑥HSコード サポート機能 HS LAB	自動車業界用語とHSコードの検索					
			New!! 鉄鋼/繊維/紙パルプ/汎用品のHSコード検索			
			HSコード設定サポート 受付中		サポート結果の公開	
⑦業界別マニュアル 業界別マニュアル フォーマット	4 業界（繊維業界/印刷産業機械/紙・パルプ業界/金属・鉄鋼）					
		追加募集	希望の業界団体で作成			
※EPA 啓発・教育 ⑤⑥⑦情報 FTA Port	EPA情報のお役立ちサイト		FTAはじめの一步/まんがでわかるEPA/協定条文			
			FTA理解度クイズ/世界の税関(事前教示)			
						業界マニュアル

実証事業版JAFTAS FTAに特化したHSコードの管理機能リリース

FTAにおけるHS分類

製品情報

- ・品番/品名
- ・機能/性能
- ・用途 etc...

法令根拠

- ・HS年版
- ・HS品目表の規定
- ・注/解説 etc...

協定年版でHSコードを特定（4 or 6桁）

FTAのHSコード管理を、JAFTASで。



自社の品番・品名に「製品情報」と「HSコード・法令根拠」を紐づけて登録する**HSコード管理機能**を搭載。

輸出品/構成品マスタ

…製品情報を登録するマスタ

品番HSコードマスタ

…輸出品/構成品マスタに紐づけて、HSコード・法令情報を登録するマスタ

■ 今後のセミナーのご案内

経済産業省 経済連携協定関連ツール開発推進事業
FTA活用のための
原産地証明デジタルツール実証事業
【実施期間】2022年7月1日～2023年2月28日
※無料・申込受付中※
お問い合わせ/申込希望を連絡

HS Code Classification セミナー

日本初

FTA特化のHSコード検索サイト HS LAB 開設記念セミナー!!
HSコードに一番詳しいのは自分自身!? HSコードを管理してFTA業務を効率化しよう!

第1弾

HS Code Education

～HSコード分類の5つのポイント～
基礎から学ぶ
HSコード分類方法

2022年 **10月6日(木)**

14:00～15:30 ※申込締切: 2022年9月30日

セミナーへのご参加を希望される方は、
こちらからお申込みください。

お申込み

第2弾

HS Code Classification

～HS LABとJAFTAS®の活用術
FTAにおける**HSコード**と
原産性の考え方

2022年 **11月10日(木)**

14:00～15:30 ※申込締切: 2022年11月4日

セミナーへのご参加を希望される方は、
こちらからお申込みください。

お申込み

問合先 東京共同会計事務所
jaftas_info@tktc.co.jp / 03-5219-8660

実証事業 特設サイト
<https://jaftas.jp/fta-digitaltool-poc/>

スケジュール	日程	方法	参加人数
第1弾 基礎から学ぶ HSコード分類方法 ～HSコード分類の5つのポイント～	10/6 (木)	Zoom ウェビナー	満員 御礼 400
追加開催			
	10/25 (火)	Zoom ウェビナー	100 募集中
第2弾 FTAにおけるHSコード と原産性の考え方 ～HS LABとJAFTAS®の活用術～	11/10 (木)	Zoom ウェビナー	143 (募集中)

HSコードに対するソリューションに
多くの企業が関心を寄せています。

FTAに特化したHSコード検索サイト「HS LAB」の公開



FTA原産地証明に特化!

HSコードの情報提供サイト

経済産業省実証事業(2022/7/1~2023/2/28)

LAB No.1 HSコードの検索

業界用語での
「ふわっと検索」

Quick Search

業界別の情報提供ページ（自動車/自動車部品、鉄鋼、繊維、紙パルプ）
業界用語をベースにHSコードの簡易検索を実現

Word Search

HSコードの検索エンジン（自動車/自動車部品）
自動車業界用語、またはHS品目表の用語からHSコードの検索を実現

Tariff Search

HS品目表および注・解説データの閲覧ページ
日本が締結している協定の採用年版（HS2002~HS2022）分を掲載
HS番号を入力し検索することで、関税率表解説等の情報閲覧が可能

LAB No.2 HSコード設定サポート

専門家サポート

有識者によるHSコード分類サポート

企業から提供いただいた産品情報を元に、有識者が分類の見解を回答するサービス

事例共有

有識者が回答した事例をHS LAB上で一般公開

LAB No.3 世界のHSサイト情報収集

重要サイトの
ブックマーク

世界の公的機関が提供するHSコード関連サイトへのURLをまとめて掲載

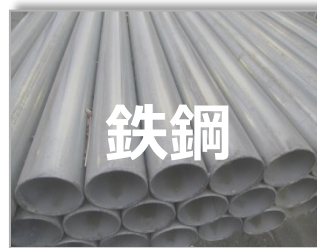
業界用語とHSコードのデータセット

LAB No.1 HSコードの検索

Quick Search

業界別の情報提供ページ（鉄鋼、繊維、紙パルプ）
業界用語をベースにHSコードの簡易検索を実現

鉄鋼ページの例



形状

材質

種目	非合金鋼	ステンレス鋼	合金鋼
鋼塊・半製品： インゴット、スラブ、ピレット、ブルーム	7206 鋼塊(非合金鋼)	鋼塊・半製品(ステンレス鋼)	7224 鋼塊・半製品(合金鋼)
	7207 半製品(非合金鋼)		
鋼板類： 薄板、厚板 コイル	7208 非合金鋼広幅熱延鋼板類(厚中板も含む)	7209 広幅ステンレス熱延鋼板類 (ステンレス鋼を含む) 7210 広幅ステンレス冷延鋼板類	7225*
	7210 非合金鋼広幅冷延鋼板類	7220 狭幅ステンレス鋼板類	
	7211 非合金鋼狭幅熱延鋼板類 非合金鋼狭幅冷延鋼板類 (みがき帯鋼)		
	7212 非合金鋼狭幅表面処理鋼板類		
線材：	7213 線材(非合金鋼)	7222.10	7227 合金鋼線材
			

一覧表で4桁の特定をサポート!!
さらに6桁目以降の候補も表示!!

ステンレス鋼×薄板は、7220項。
リンクをクリックするとさらに6桁以降の分岐を確認可能!

ステンレス鋼	狭幅・600mm未満 (7220)	熱延鋼板	コイル板・切り板	板厚4.75mm以上	7220.11
				板厚4.75mm未満	7220.12
		冷延鋼板			7220.20
		表面処理鋼板 (めっき鋼板)			7220.90

[開じる](#)

業界用語とHSコードのデータセット

LAB No.1 HSコードの検索

Quick Search

業界別の情報提供ページ（自動車/自動車部品）
業界用語をベースにHSコードの簡易検索を実現



自動車・自動車部品

自動車部品名から調べる

自動車業界用語を自動車の部品カテゴリー別に掲載しています。

各用語をクリックいただきますと、HSコードの候補が確認できます。

※実際のビジネスや原産地証明手続き、輸出入申告等においてHSコードを分類される際は、必ず当局へご確認ください。

※自動車業界用語は主に乗用車を対象としており貨物自動車や二輪車では異なるHSコードになることがあるためご注意ください。



エンジン関係

燃料装置

※インジェクター

※デリバリーパイプ

※フュエルデリバリー

※燃料ポンプ

※キャニスタ

※バルブ

※フュエルパイプ

※噴射ポンプ

※キャニスタ

※燃料パイプ

部品カテゴリー×名称で
HSコードの絞り込みをサポート

この欄の「バルブ」を選択した場合、エンジンに関する
HSコード候補**2件**のみが表示される

類	項	号	号の規定
84	8409	840991	－ その他のもの － － ピストン式火花点火内 燃機関に専ら又は主として使 用するもの
		840999	－ その他のもの － － その他のもの

業界用語とHSコードのデータセット

LAB No.1 HSコードの検索

Word Search

HSコードの検索エンジン（自動車/自動車部品）
自動車業界用語、またはHS品目表の用語からHSコードの検索を実現

用語で検索

自動車・自動車部品

①協定を選択

②仕向国を選択

③用語を入力

④検索対象を選択

⑤検索ボタンをクリック

検索対象は以下のいずれかを選択
・自動車業界用語
・号の規定

選択した協定のHS年版に応じた、HSコードの候補が表示されます！！

「ワイヤーハーネス」「トランスミッション」等品目表上で使用されていない言葉でも検索可能！！

用語検索 協定を選択、用語を入力、検索対象を指定して「検索」をクリック

輸出統計品目表 (2012年版) における検索結果 (3件)

品目	品名	品目番号	品目説明	自動車業界用語
85	85.44	854430	点火用配線セットその他の配線セット（車両、航空機又は船舶に使用する種類のものに限る。）	ケーブル ワイヤーハーネス サブリードワイヤー エクステンションワイヤーハーネス
85	85.44	854442	その他の電気導体（使用電圧が1,000ボルト以下のものに限る。） -- 接続子を取り付けてあるもの	ケーブル ワイヤーハーネス アースリードワイヤー コード ソケットコード プラスリードワイヤー マイナスリードワイヤー
85	85.44	854449	その他の電気導体（使用電圧が1,000ボルト以下のものに限る。） -- その他のもの	ケーブル ワイヤーハーネス ダイアグノスティックフラッシュアダプタ テストハーネス

自動車業界用語
日本語…約1,600語
英語……約1,500語
搭載（2022年7月現在）

業界用語とHSコードのデータセット

LAB No.1 HSコードの検索

Tariff Search

HS品目表および注・解説データの閲覧ページ。
日本が締結している協定の採用年版（HS2002～HS2022）分を掲載。
HS番号を入力し検索することで、関税率表解説等の情報閲覧が可能。

番号で検索

①HSコードを入力し検索

HS LAB
税関通関手向け検索 公式サイト

表題・規定のページ

HS年版
2017

Q 類項号
900130

表示
条件をリセット

86	鉄道用又は軌道用の機関車及び車両並びにこれらの部分品、鉄道又は機械式交通信号用機器（電気機械式のものを含む。）
87	鉄道用及び軌道用以外の車両並びにその部分品及び附属品
88	航空機及び宇宙飛行体並びにこれらの部分品
89	船舶及び浮き構造物
18部	光学機器、写真用機器、映画用機器、測定機器、検査機器、精密機器の部分品及び附属品
90	光学機器、写真用機器、映画用機器、測定機器、検査機器、精密機器及び医療用機器並びにこれらの部分品及び附属品
9001	光ファイバー（束にしたものを含む。）、光ファイバーケーブル（第85.44項のものを除く。）、偏光材料製のシート及び板並びにレンズ（コンタクトレンズを含む。）、プリズム、鏡その他の光学用品（材料を問わないものとし、取り付けたもの及び光学的に研磨していないガラス製のものを除く。）
900110	－ 光ファイバー（束にしたものを含む。）及び光ファイバーケーブル
900120	－ 偏光材料製のシート及び板
900130	－ コンタクトレンズ
900140	－ ガラス製の眼鏡用レンズ
900150	－ その他の材料製の眼鏡用レンズ
900190	－ その他のもの

注・解説等の検索 - Google Chrome

jaftas.jp/hscode/test/code.php?c=1&target=1&content=2&year=2017&code=9001

HS LAB 注・解説等の検索 HS年版と表示対象、表示内容を指定し、「検索」をクリック

HS2017：第90.01項の解説

この項には、次の物品を含む。
（A）光ファイバー（束にしたものを含む。）及び光ファイバーケーブル（85.44項のものを除く。）
光ファイバー：屈折率の異なるガラス又はプラスチックを同心の層にしたものである。ガラスから引き伸ばされたものは、肉眼では見えない薄いプラスチックのコーティングを有しており、ファイバーの破損を防止している。光ファイバーは、通常数キロメートルの長さでリールに巻かれて提示される。これらは、光ファイバーの束及び光ファイバーケーブルの製造に使用される。
光ファイバー（束にしたもの）：光ファイバーの束には、全長にわたって接合剤により凝結させた固いもの及び光ファイバーの末端部のみを接合させたフレキシブルなものがある。光をコヒーレントに伝達できるように（coherently）整然と束ねたものは画像の伝送に適し、不ぞろいに束ねたものは、照明用の光の伝送用のみに適する。

注・解説の参照も可能。

②検索結果が
ハイライトで
表示される

業界用語とHSコードのデータセット

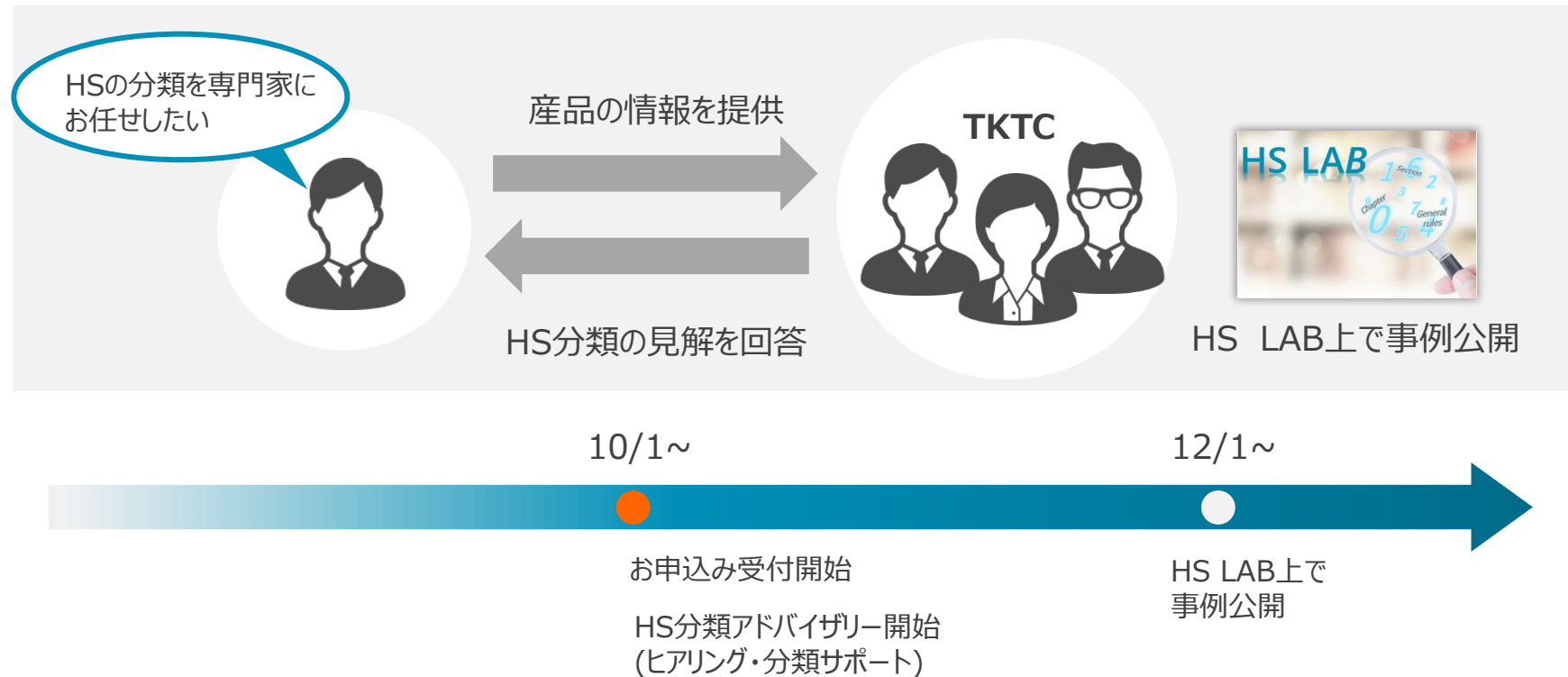
LAB No.2 HSコード設定サポート

有識者による構成成品HSコード分類サポート

ご希望の企業に対し、産品に関する情報提供を受けた上で、HS分類の見解を回答するサービスを、10月以降に無料で実施いたします。(1社2品番を想定)

CTCでの対比表作成を前提として、輸出産品の構成成品のHS分類をサポートいたします。

お申込み企業の同意のもと、**HS分類に関する回答については事例共有として、HS LABでの公開**を予定しています。



業界用語とHSコードのデータセット

LAB No.3 世界のHSサイト情報収集

世界の公的機関が提供するHSコード関連サイトへのURLをまとめて掲載

HSコードを調べる

■ Schedule B Search Engine

提供機関：米国国勢調査局

URL： <https://uscensus.prod.3ceonline.com/>

■ Combined Nomenclature Search Engine

提供機関：欧州委員会

URL： <https://eurostat.prod.3ceonline.com>

✓キーワードでHSコードの検索が可能

✓質問に答えていくことで
HSコードの絞り込みが可能

コンバージョンを調べる

■ HS Tracker

提供機関：世界貿易機構（WTO）

URL： <https://hstracker.wto.org/>

✓HSコードの改訂を確認できる

化学品を調べる

■ NITE-CHIRIP

提供機関：独立行政法人製品評価技術基盤機構

URL： https://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop

✓物質名やCAS登録番号から
HSコードを検索できる

業界マニュアル・標準フォーマット

対象者

中小企業等のEPA担当者（初心者から経験者まで）

目的

<業界別EPA業務運用マニュアル>

：業種毎にEPA申請の標準作業フローを構築することにより、**初心者でも容易にEPAを利用できるようにする**

：①HSコードの候補検索、②EPA特惠税率・PSRの比較及びHSコードの確定、③原産性証明の書類作成関連手続き
④必要に応じて取引先サプライヤーへの関連書類提出依頼、原産地証明書申請書類の準備・提出等というフローが想定
されるところ、これを業種特性に応じて、**業界内での典型的なEPA利用手続きを整理する**

<標準フォーマット>

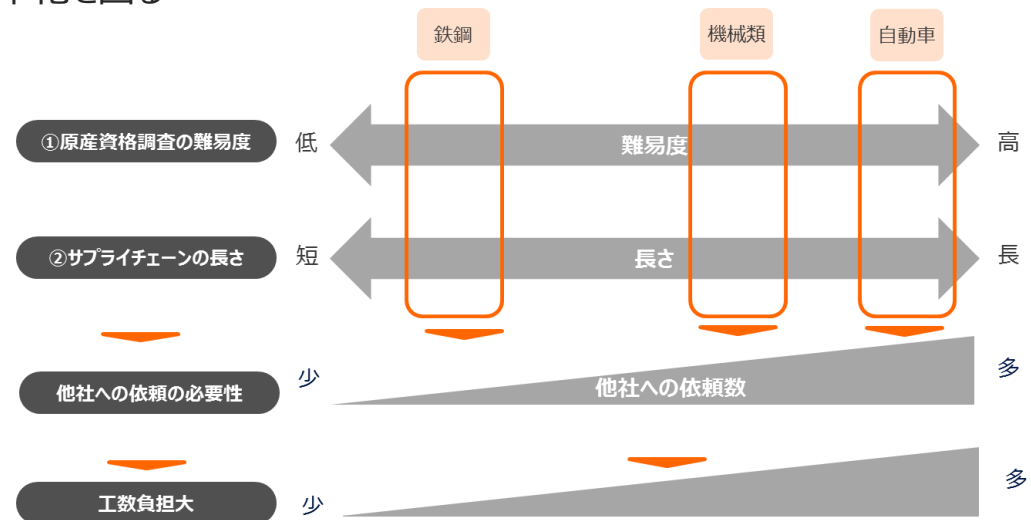
：業界内でのばらつきを抑え、書類作成のプロセスを効率化を図る

：輸出者とサプライヤー間でやり取りされる情報について平準化を図る

背景

各業界の産品・商流の特性により
EPAの利活用の難易度も異なる

利活用に大きく影響を及ぼす要因として、原産資格調査が自社で完結せず、他社への依頼が発生するケースが多いかどうかあげられる。
他社への依頼数を左右する要素は、主に右図2つの要素（①②）



本日の位置づけ

1. 取組みの現状共有及びブラッシュアップに向けた意見聴取
2. 検討未実施の業界へ、作成希望の追加募集

作成のポイント

サンプル製品の選定

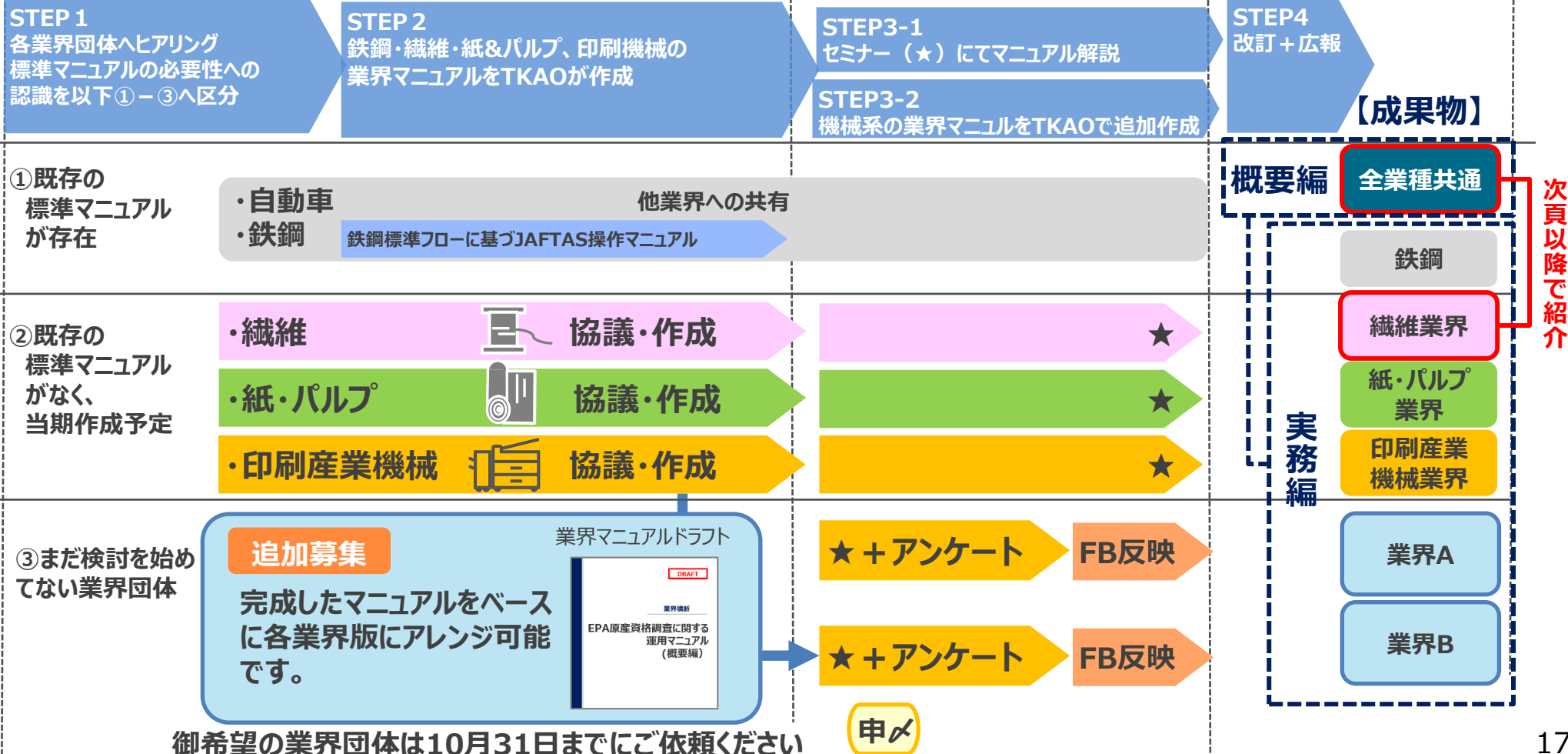
業界マニュアル・標準フォーマットの作成スケジュール

4/1

10/1

1/1

2/28



業界マニュアル・標準フォーマット

概要編は、全業界共通のEPA原産資格調査に関する情報を掲載

全業種共通

DRAFT

業界横断

EPA原産資格調査に関する
運用マニュアル
(概要編)

©2022 Tokyo Kyodo Trade Compliance Co., Ltd.

EPAとは？

特定の国や地域同士が、貿易・投資・人の移動などの幅広い経済関係の強化を目的として結ぶ、「経済連携協定（Economic Partnership Agreement）」です。
EPAを利用することで、輸入時の関税を減免できる可能性があります。

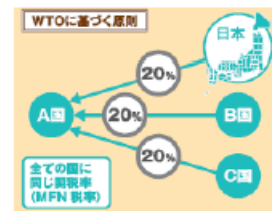
関税とは？

- 輸入品に課せられる税金のことで、輸入国税関が税率を設定
- その国が守りたい産業に対してより高い関税をかけることで、自国の産業を守る役割がある
（例：日本ではお米の関税が高く設定されている）
- WTO加盟国間では、どの国から輸入されたものか

EPAを利用すれば関税が安くなるとは？

- EPAを結んでいる国からの輸入に対しては、特別に
 - →EPAを利用することで、関税を下げるができる
 - →締約国間の貿易が促進され、経済関係の強化
- ※ ただし、全ての品物に対して安い税率が設定される

EPAを利用しない場合（通常の輸入）



EPAを利用するには？

EPAを利用するには、輸入国税関に対して「**原産地証明書**」を提出する必要があります。
※「積送基準」を満たしていることが前提です



原産地証明書とは？

- 製品の原産国を証明する書類
- 「原産地証明書」と呼ばれる書類は3種類ある



① EPAの原産地証明書
EPA協定が使える国に提出することで、関税を下げる役割がある原産地証明書



② 非特恵の原産地証明書
輸入国の法律・規則に基づく要請、契約や信用状で指定がある場合等に提出するもので、関税を下げる役割はない原産地証明書



③ 一般特恵関税の原産地証明書 (Form A)
開発途上国の経済発展の促進を目的として合意された制度を利用する際の原産地証明書
※日本は開発途上国ではないので、日本の原産品には適用されない

EPAにはこれが必要

※ドラフト段階のため、修正の可能性があります。予めご了承ください。

多くの方々にご確認いただき、ご意見を反映しながらブラッシュアップして参ります。

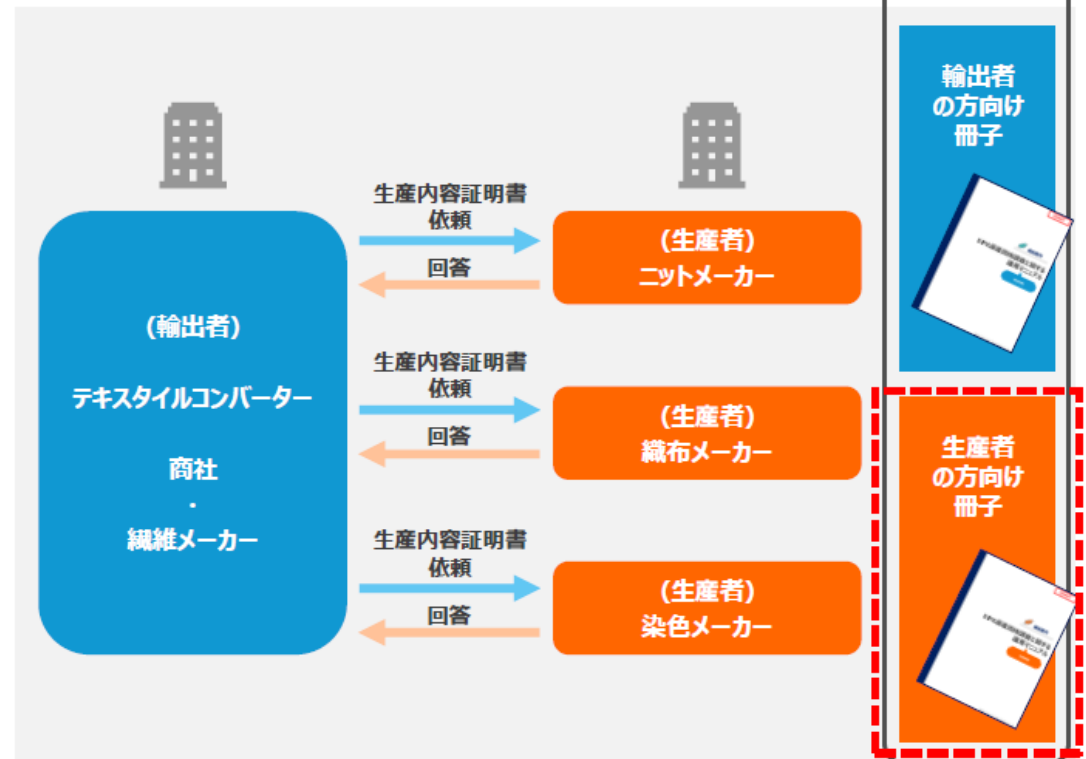
業界マニュアル・標準フォーマット

実務編は、商流に即して「輸出者」「生産者」の2部構成で、業界の製品サンプルに沿って業務を解説

【例】繊維業界



-繊維業界の商流に沿った原産資格調査-



※ドラフト段階のため、修正の可能性があります。予めご了承ください。

業界に沿ったアレンジが可能ですので、この機会に是非ご作成をご検討ください。